

逗子の未来を『共につくる』政策集

これからも魅力あふれる逗子であり続け、
老若男女、世代を超えて
「逗子っていいね」「逗子が一番!」と
心から感じてもらえるように。
活気に満ち、やさしく、笑顔にあふれ
次の世代も安心して暮らせる
「ひとづくり、まちづくり、新しい逗子づくり」を進めます。

逗子市長

桐ヶ谷さとる

◆市民を笑顔にする5つのビジョン

- 1 子育て世代をバックアップします!
- 2 高齢者サービスを拡充します!
- 3 地球環境を守り、災害から市民の生命と財産を守る!
- 4 起業サポートと企業誘致を進めます!
- 5 賑わいのあるまちへさらに魅力を高めます!



◆施策推進を支える2つの財源策

- 1 逗子経済の活性化へ!
- 2 起業と企業で歳入アップ!



いままでの4年間でやってきたこと

財政再建達成!

2018年12月～2022年9月、逗子市長として
財政再建を実現!

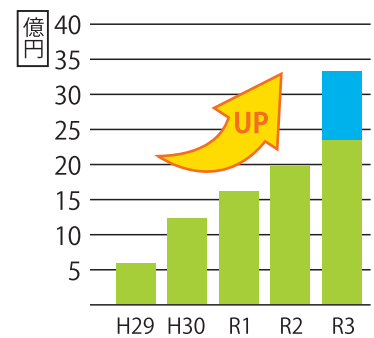
過去最高

逗子の貯金
33億7千万円

貯金増えています!

(財政調整基金23.7億円+公共公益施設整備基金10億円)

●財政調整基金の移り変わり(決算額)



コロナと自然災害への対策

- 新型コロナのワクチン接種では、「年齢が高い順」という手段で、納得感と混乱のない体制づくりをしました。
- 市の管轄外にあった「崖崩れ」に関しても、人命や安全を第一に考え、国と交渉し財源を獲得して対策を講じました。
- 新型コロナウイルス感染症に対応するため、基金(6億円)を創設し感染症対策や低所得者・ひとり親家庭へ市独自の支援金を支給しました。

逗子経済の発展と次世代の「逗子への思いのために」

「市民の思いに答えるため」

- 図書館開館時間延長 ●ブックポスト設置 ●危険な通学路へ交通整理員配置
- 「あたたかくて美味しい中学校給食(食缶方式)」の実現 ●オンライン申請(住民票、印鑑証明等)導入
- 空き家を地域に開く活動を支援(宅建協会・行政書士会と協定締結)

「経済発展・次世代へ繋げるため」

- 逗子会館内に「ワーケーションスペース(戸田建設連携のもと)」を開設。
- 産官学連携(platform ZUSHI BIZ)意見交換の場を創設。
- 大学(国立大学法人電気通信大学、慶應義塾大学SFC研究所)との連携協定締結。
- レンタサイクルの実証実験(市内各所へ展開中)。
- 小坪エリア活性化イベントを随時開催。
- ワーケーションイベントを開催し移住促進、土地価格が上昇中。
- 女性の活躍を応援、保育的機能を持つ企業の誘致。 ●虹色サポーターを配置。



ワーケーションスペース

逗子のチャンスつづく

ひとづくり、まちづくり、新しい逗子づくり

- ◆子育て世代のご家庭が安心して暮らせるように。
- ◆いくつになっても元気で健やかな毎日を送れるように。
- ◆環境保全や災害対策の課題に成果を示せるように。
- ◆女性がもっと活躍できる新しいビジネスを育てていけるように。
- ◆経済を活性化する地域開発が成功するように。



このまちのチャンスを広げていきます
逗子のチャンスはつづきます!

これからの逗子 ～今後のビジョン～

子育て支援に全力投球します



出産から育児、教育にいたるまで、切れ目ないサポート体制へ。

全力投球

1 子どもを中心としたまちづくり

体験学習施設「スマイル」を中心とした自然の遊びを核とした子育て

0歳からの沢山の子どもたちが楽しく集う場所へ

- ・ちびっこ広場や元気っこ広場など屋内子ども遊び場
- ・親子ラウンジ ・育児相談コーナー
- ・屋外遊具を整備 ・アスレチック遊具も整備

海あそび・山あそび

民間企業と連携し、自然の中で元気いっぱい遊ぶ環境づくりを進めます。

移動あそび場

池子の森、市内幼稚園や保育園など、どこにでも出張し、身体を使ったあそび体験を充実させます。

全力投球

2 子育て支援を拡充させます

・小児医療費助成を高校3年生まで拡大

(中学3年生まで所得制限廃止)

- ・駅前保育ステーション開設 ・「子育て相談事業拡充(一人で悩まない)」
- ・妊娠前から教育までしっかり寄り添う支援

全力投球

3 中学校給食をスタートしました

2022年9月21日よりあたたかくて美味しい中学校給食がスタート
(食缶方式)

地産地消の実践や「子どもたちが考えたメニュー」の提供などを行い、食育を通じて健やかな心身の成長につながるよう取り組みます。



子どもが欲しい<妊活>

不妊治療の支援
(2人目も拡大)
多胎児支援

ママになったら<妊娠>

妊産婦検査費用
補助金2万円アップ

赤ちゃん誕生<出産>

産後支援母児ケア
宿泊型、通い型、訪問型
などで心身のケア

新生児～3歳

- ・保育士などによる家庭訪問、育児相談
- ・1歳までオムツ無料配達(育児相談)
- ・3歳に2回目の絵本サービス(育児相談)

未就学児

- ・親子広場(育児相談)の充実
- ・一時預かりの拡充
- ・認可外保育施設への財政支援(遊具充実)
- ・既存の「ほっとスペース」の活用促進
- ・駅前保育ステーションの開設

小学生以降

- ・小児医療費助成を高校3年生まで拡充
- ・公園遊具の充実
- ・コミュニティスクール実現へ
- ・自然を活かした子育てあそびの充実

高校生

給付型奨学金で
意欲ある学生を支援

1 子育て世代をバックアップ!

出産から子育て、充実した教育のサポートに取り組みます

あそびから子どもを中心にした「新しい逗子づくり」へ (株) ボーネルンドや民間企業との連携スタート

子育て支援策 1

体験学習施設<スマイル>をバージョンアップ!

池子の体験学習施設<スマイル>の機能を拡充。乳児から児童期の子どもたちが楽しく安心して遊び、学べる室内外の遊具や玩具を民間事業者と連携で設置。同時に親子広場や相談コーナーなども充実させ、子育て世代の親たちも集える憩いの場へバージョンアップ。

- 高齢者にも利用可能なアスレチック器具を整備し、高齢者と子どもたちのふれあいの場を演出します。
- 英語やプログラミングが学べるアフタースクールの開設を検討します。



子育て支援策 2

逗子の自然を活かした<海あそび><山あそび>の促進

海と山に囲まれた豊かな自然を活かして、小さな子どもでも安心して、夢中になれる「海あそび」「山あそび」を実施。

アウトドアのトップブランドメーカーや地元逗子で活動する「子育て団体」などとの提携を予定。



写真提供:黒門とびうおクラブ

子育て支援策 3

移動あそび場

池子の森、市内幼稚園や保育園など、どこにでも出張し、身体を使ったあそび体験を充実させます。



教育支援策

子どもたち、一人ひとりに寄り添える教育現場の実現と「明るく元気な先生」と呼ばれるようなファイトあふれる指導者を育成

子どもたち一人ひとりを大切にする教育現場へ

- ・少人数指導教員、特別教育補助教員、巡回指導教員の配置
- ・フォローアップ学習体制の整備。

悩みや心の相談に寄り添える体制

- ・人材や環境を整備。
- ・虹色サポーターを育成し臨時職員として採用。

教師や指導者たちの育成

- ・子どもファーストな視点で、柔軟に対応できる人材育成。
- ・「元気な先生」を支援できる体制づくり。

次世代へのアプローチ

- ・ICT指導員によるDX社会への対応促進。
- ・プログラミングなどの新しい学習課題への率先した対応。
- ・英語をはじめとした語学の学びの充実。



2 いくつになっても元気で安心なまち!

高齢者への行政サービスの拡充

高齢者

とっとう言葉がいらなくないうらら、元気で健やかな毎日へ。

「てくtec逗子」の継続やフレイル予防の取り組みを推進

ウォーキングイベント「てくtec逗子」の継続的な開催やフレイル予防のトレーニング、ストレッチ教室などの取り組みを行います。

健康寿命を延ばすことで、医療費削減につながり高齢者のひきこもりを防ぎ心身の健康の向上もめざします。



- 市内の散歩を楽しむ…。**バリアフリー化の促進**や**ベンチを増設**。
- おれんじカフェ**(認知症カフェ)の開催を応援。
認知症への理解や予防、介護問題の緩和へ。
- 「ふれあいパス」で外出促進、助成制度の導入。
- 補聴器購入補助制度。
- グループホーム増設、見守り体制の充実、特別養護老人ホーム増設を推進。
- e-Sports**…ゲーム(太鼓の達人等)を用いて認知症予防を推進。



ふれあいパスで外出促進



自ら体験「太鼓の達人ゲーム」



アスレチック



アスレチック

逗子にふさわしい病院の誘致と 三浦半島全体での医療体制の構築へ

◆医師会・市民・専門家・市による『検討会』を設置しました

過去4回にわたる総合的病院誘致は、地元医師会との関係改善が図られてこなかったのが大きな要因で、実現できませんでした。

- ①200床以上の病床数、②急性期機能の病床数確保は難しく逗子にふさわしい病院誘致を医師会と共に連携して推進します。

◆病診連携、逗子にふさわしい病院機能を再検証へ

病診連携、地域医療構築のため逗子にふさわしい病院誘致に向け『検討会』において再検証を進めます。
例えば、「うわまち病院と連携し小児医療もしっかりと診てもらえる病院等」、今度こそ病院誘致に向け取り組んでいきます。



3 地球環境を守り、災害から生命と財産を守る!

CO2削減や自然災害への危機管理等の取り組み

インフラ整備とともに、環境や防災に対する意識の向上を

頻発した「崖崩れ」に、返子らしい根本的な解決策を

4年間で、約30箇所の「崖崩れ」が発生。

若い生命が奪われた悲しい事故もあり、最速で対応しています。

ただ、やみくもに自然を破壊してコンクリートで固めてしまう単純な工事(かさぶたを作るようなこと)は、必ずしも返子にふさわしいとは思いません。災害から市民の生命と財産をしっかりと守りつつ、自然との共存と安全の両立をめざすことが返子らしい自然災害への備えと考えます。

- ・急傾斜地の緑を保全する崩壊対策工事や崖崩れを起こした箇所の緑を復元する崖地対策
- ・防災DXの推進として、「指定避難所への通信インフラの整備」、「災害の発生情報や危機管理情報をPCやスマホに配信」、「クラウド録画型やセンサーを急傾斜地へ設置し監視」などを強化
- ・民間企業との連携により、自然災害の回避と安全性を向上

現在実証実験中

わずかな斜面のズレを計測



センサー親機 (Sensor main unit)

24時間監視中 (Monitoring 24 hours)



子機設置状況 (Sub-unit installation status)

市内の危険な箇所に設置しています (Installing in dangerous areas in the city)



カーボンニュートラル(CO2削減)のモデル都市・返子をめざします

2022年1月の「チャレンジ!返子カーボンニュートラル2050(ニーゼロゴーゼロ)」宣言を推進。

温室効果ガス排出の大幅な削減には、市民一人ひとりの理解と、ライフスタイルの変革が不可欠です。

市が率先して行動するのはもちろん市民や事業者のみなさんと一体になって2050年温室効果ガス排出実質ゼロをめざして取り組んでいきます。

- ・ビーチやマリナー、観光用ボートを対象とした国際環境認証「ブルーフラッグ」を返子海水浴場が取得。その榮譽にふさわしい環境保全対策を市全体で推進します。



池子の森、さらなる活用へ

米軍基地との共同使用になっている池子地区の返還に向け全力で取り組みます。

まずは、「**返葉地域医療センター**」**進入路の返還**から。生態系を守りながら、返子市民の憩いの場となるよう更なる活用を進めます。



返葉地域医療センターへの進入路



池子の森

VISION

4 起業と企業で歳入アップへ!

起業サポートと企業誘致に取り組みます

女性の新しい働き方、活躍の場も拡大

創業支援を推進し、女性の起業の思いにも応えます。

- ・課題解決に取り組むスタートアップ企業の支援を進めます。
- ・地元企業との協業を進めるため「スタートアップ企業化支援拠点」とフィールドを整備。
- ・スタートアップ企業が大学、研究機関、金融機関、投資家などからアドバイスをもらえるよう推進します。
- 逗子でビジネスチャンスを得たい企業へのアプローチ。
- 「企業版ふるさと納税等」による寄付を活かして課題解決へ。

◆保育的機能を持つ短時間就労支援を推進。

子育てと両立しながら安心して働ける地域就労支援を推進。

行政DX化:行政サービスのオンライン申請をさらに推進し、産官学連携によるデータ活用で課題を解決します。



VISION

5 逗子経済の活性化へ!

地域ブランディングを進め魅力あふれるまちづくりを推進

2つの駅前再開発と小坪漁港の賑わいづくりから新たな逗子の魅力をアピール!

JR逗子駅前

JRと民間ビルの建て替え計画が進行中。空地を確保し憩いの場が生まれるよう魅力あふれる逗子の玄関口をめざし、民間と連携してまちづくりを進めます。まずは、交通渋滞解消へ。

東逗子駅前

老朽化した公共施設の機能を移転し、＜親子広場＞＜一時預かり＞＜子育て支援機能＞＜テレワークスペース＞等の機能を持ち、地域活性化につながる魅力あふれる施設を整備します。

小坪漁港

買い物や飲食のみならず、新たな収益性に富んだ新しい漁港の展開を!

「漁業体験」「魚のさばき方教室」「加工直販所」「海洋教室(環境教室)」「釣り体験」「プレジャーボート係留保管」など漁業者の所得と小坪の魅力向上につながる施設の有効活用を推進します。

小坪漁港までの交通手段の拡充と整備を進めます。

- ・シェアサイクルのステーション増設
- ・シーレーン(海上交通)を整備し、逗子海岸から小坪漁港まで海上からアクセス可能となるよう県に働きかけ、地域経済活動の向上や交通渋滞緩和をめざします。



海洋教室



魚のさばき方教室



漁業体験



シェアサイクル



シーレーン



桐ヶ谷さとの公式ホームページ
<https://kirigayasatoru.net>

桐ヶ谷さとの

検索



発行: 桐ヶ谷さとの
 TEL: 046-871-1100 FAX: 046-872-1900
 E-mail: info@kirigayasatoru.net